

秋田 修一

あきた

しゅういち

後援会便り

【討議資料】

副議長になり半年以上が経ちました。議会を代表する場所があまりにたくさんあることに驚きが隠せません。様々な団体さんにお邪魔してごあいさつをさせていただきながら、市民のために頑張っておられる方々に感謝するばかりです。それぞれのお立場からいただく声を大切にしながら、ますます市政に反映できるよう頑張っていきたいと思っております。今回は地域の役割を通じて考えること、思うことをお知らせしていきます。

人と人のかかわり・絆づくり



自治会長をさせていただき9年目。会員数がなかなか増えない現状を目の当たりにして、共助の意識が薄れているのを危惧しています。無縁社会や孤独死など、人との関わりが断たれた中で起こる悲劇を少しでも食い止めたいと制度を考えてはいますが、一人一人の心に響かなければ形だけのものになってしまいます。災害や何か有事があれば必ずと変わるのかも知れませんが、常日頃から少しずつでも繋がることができると願っています。あいさつを積極的にしていくことで、関係性が深まり、防犯性が高まり、地域が明るくなる、そんなバタフライエフェクトを生むことができると思っています。

バタフライエフェクト: 非常に些細なことが様々な要因を引き起こしだんだん大きな現象へと変化することを指す言葉です。

秋田 修一

川西市議会議員

川西の未来を
ともに創ろう!

後援会事務所
758-2456

【討議資料】



ご意見・ご要望などはお気軽に秋田修一にお申し付けください

〒666-0015

URL <http://s-akita.jimdo.com> 【スマホからどうぞ!!】

川西市小花 2-7-5-804 TEL/FAX 072-758-2456 携帯 080-5305-0409 e-mail: akita@carrot.ocn.ne.jp

放課後の子どもたちの学び



放課後子ども教室「やなぎっ子クラブ」は4年目を迎えました。年々子どもたちの間でも話題になり好評いただいています。今年は7教室106名の申込みがありました。保護者の共働きが増える中、子どもたちの居場所作り、学校教育とは違った地域教育・学びをしてあげたいという地域の指導者の方々と力を合わせて運営しています。留守家庭児童育成クラブという教育委員会が実施している子どもの預かりについては、国が6年生まで受け入れを拡大する方針を出しました。川西市では場所と人員、財源の問題で順次学年を上げていくこととなっています。他にきんたくん学びの道場という学習補助、学習習慣の定着のための取り組みがあります。市内すべての学校で始まりましたので、将来的にはいずれかの教室と連携していきたいと思っています。地域ぐるみで子どもたちの学びを高めていきたいと考えています。

安心・安全なまちづくり



毎月第1・3月曜日は防犯協会小花支部の一員で夜回りを。第2・4火曜日は青少年補導委員で駅周辺を巡回。防犯協会少年補導として2月に1度程度駅周辺を。川西中央地区交通対策協議会として月に2回不法駐輪、違反駐車の見回りをしています。活動用のベストがそれぞれ黄・緑・青・オレンジとバラバラなので間違えそうになります。

夜間回ると、どこの街灯が消えている・どの場所が暗い・見通しの良し悪し・歩道や道路の状態などが確認できるため対応がしやすくなります。また、それぞれ活動されるメンバーが入れ替わるので情報交換もしやすくなります。

歩道が少しずつ整備されていますが、まだまだ駅周辺の住宅街に入れば路地だらけです。歩きながら、視点を変えながら課題箇所の改善に努めていきます。

認知症にやさしいまちを



自治会長になれば必然的に福祉委員に。そこから講習を受けて認知症サポーターに。さらに講習を受けて認知症キャラバン・メイトになりました。認知症サポーターを養成する講座を開催したり、パワーポイントによる資料を作ったり、講師を務めたりしています。川西小学校区の各地で認知症サポーター養成講座を既に何度か実施しました。また、川西小学校PTAの皆さんと校区人権啓発推進委員会、コミュニティの人権部会、福祉委員会との共催で高齢者の人権を考える講座も開催しました。川西中学校では、授業にも取り上げていただき、一緒に学びました。

講座を受講した人にはオレンジリングがプレゼントされます。認知症についての知識を持ったサポーターが一人でもたくさん増えることが、すなわち認知症にやさしいまちづくりにつながると信じています。将来的には、市内全ての地域がネットワークを構築し、徘徊者が出て大丈夫なまちを創ることができればと思っています。そのためにも仲間づくりを…。

災害に強いまちを



非常勤の地方公務員である川西市消防団 第1分団 小花部団員として、主に旧川西地区と呼ばれる小花・栄根・寺畑・小戸・出在家・火打・萩原・滝山・加茂・久代・東久代の村々を活動エリアとして火災や災害が発生した時は出動しています。緊急車両がサイレンと鐘の音を同時に鳴らす時は建物火災なので、聞こえた時は仲間と一緒に現場に急行します。基本的には類焼防止・現場保持が主な役割です。

本年度、当分団の車両が新規導入されました。川西市で初めて総務省消防庁からの無償貸与です。本部並みの装備品に戸惑うばかりですが、訓練を重ねしっかりと使いこなせるようにしていきます。

